

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 目標の大切さ 】
2 実施対象者	県立三次高等学校 全校生徒対象（584名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 行事名（ 特別講演及び実技指導 ）
4 目標 （ねらい）	多角的に物事を捉えて自分で判断して動く生徒の育成
5 取組内容	事前に SHR において、芦田創 さんのプロフィールを紹介し、どのような方なのかを知る時間を作った。 10月24日（水） 芦田創さんの特別講演を行った。「目標の大切さ」について話をされた。話の内容が非常によく生徒の心を掴み、生徒は、よく聞いていた。 ① コンプレックスから自分の障害を受け入れるまで ② 恩師に「障害に甘えているのか」自分で限界をきめるな！と言われ、自分と向き合う ③ 自分にしかできない世界観を見つける。 ④ 夢が目標になれば…自分の人生で社会を変えてみよう。 ⑤ ビデオ視聴5分（自分で作成された生い立ちからメダルを獲って東京に邁進されている状況を描いたビデオ） ⑥ 実技指導（50名） ア 体操 イ 高く跳ぶステップ・ラン ウ 様々なダッシュ エ スタートダッシュ理論 オ スタートダッシュ実技 ※真剣に取り組んだ。
6 主な成果	① 人は、個人個人の目標が違うことを理解する。 ② 自分の世界観を作る。 ③ 自分で限界を作らない。 ④ 自分を客観的に見る。（自分を理解する） ⑤ 夢が目標になるように実現を目指す。（夢に向かって努力する） 以上のことを実践することが高校生に必要であることが分かった。
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	①事前にメモ用紙を生徒に手渡し、メモを書くことができるように工夫した。 ②全員が聴く講演と、希望者が受ける実技を組み合わせる行うことにより、生徒の意欲を高めるように工夫した。

	③本校が特色として行っているキャリアノート（感想と意見）に，講演と実技の感想を書かせ，振り返りをさせた。
8主な課題等	① 道徳教育と関連付けて，多様な人間性を育んでいくこと。 ② 社会を多角的に理解・思考し，他者に対するマナーや思いやりを持って行動できるようになること。
9来年度以降 の実施予定	これまでの取組を基に，来年度も同様の取組を計画する。